

慶應義塾塾生・教職員限定公開講座

※一般の方はご入場いただけません

入場無料

定員200名
事前登録制

<塾生・教職員限定>
定員になり次第受付終了

慶應義塾一貫校の
生徒も参加できます
(保護者1名同伴可)

新型コロナ これまで、これから

申込QRコード ⇒



《ゲストスピーカー》

公益財団法人結核予防会
理事長（元 新型コロナウイルス
感染症対策分科会 会長）

尾身 茂 氏

2024年4月19日(金)

19:00～20:30 (18:30開場)

慶應義塾大学日吉キャンパス 独立館DB201

<プロフィール>

1978年自治医科大学卒業。1999年第5代WHO西太平洋地域事務局長。2009年よりWHO執行理事。2012年より独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構 理事長、内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議の長。2014年より独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 理事長。また社会貢献活動として組織の利害やイデオロギーにとらわれず、将来の社会づくりに貢献すべく2015年9月、NPO法人「全世代」を設立。2020年2月より新型コロナ感染症専門家会議 副座長、2021年4月より新型インフルエンザ等対策推進会議 基本的対処方針分科会 会長。2022年4月より公益財団法人結核予防会 (JATA) 代表理事、JCHO 名誉理事長。2022年6月より JATA 理事長。

<講演概要>

新型コロナウイルス感染症について、我が国では様々な感染対策を講じてきた。クラスター対策や検査体制、緊急事態宣言等の措置を振り返りながら、これまでの評価をしていく。また、その評価によって抽出された課題やこれからの見通しについて述べていきたい。



モデレータ:
SDM教授 当麻 哲哉



SDM
System Design and Management

お申し込みは、上記QRコードより(塾生・教職員限定)
※定員になり次第、受付を終了します。参加票送付のため、e-mailアドレスの入力間違いにご注意ください。一貫校生徒は保護者1名、事前登録で同伴可

お問い合わせ先: 慶應義塾大学大学院SDM研究科
Email: sdm@info.keio.ac.jp